

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第104号

2010年3月発行

『看護を語りたいと願って』

今春、国立病院機構39年の看護師過程の卒業です。弘前病院附属看護学校を卒業し、たくさんの方々に助けていただきながら働き続けることができたこと、深く感謝いたしております。



振り返ってみますと、看護師になって10年経つか経たないかのころ、「看護は奥が深く、看護を短く伝える言葉がまだ見つけれない」といって定年退職された先輩がいました。そのとき、私は、という、学生時代に勉強した「看護の本質」が擦り込まれないまま10年近くが過ぎていました。そのときが私の「学び時」の始まりだったと思います。遅いといえば遅いですが、人にはそれぞれに学び時があるようです。何かモヤモヤするその10年があったから、先輩の一言に反応したのだとも思います。きっかけをくれた先輩に感謝です。今なら語れる「看護とは何か、どのように行うか、自分の行った行為が、看護になったのか、ならなかったのか、それをどう判断するのか」など「看護を明解に言葉で表現したい」との思いが育ち始めました。

そして今、このように考えています。

「看護」とは、患者の心身の状態を観察・理解し、気遣いと配慮をし、回復過程を支援すること。

ナチンゲールは「看護とは患者の生命力の消耗を最小に整えること」と言っています。その整える看護は、患者の生命の様子を読み取って、食べる、眠ること、清潔にすること、排泄に関することなど、患者を消耗させないように生活を整えることを通して回復の手助けをすることです。その手助けとは、患者の持っている力を見て取り、根拠をもってその方の回復を支援することです。

病気が回復していくのは、患者自身の持っている回復力（自然治癒力）に医療の後押しが加わるからです。ですから医療や看護に奢りがあるわけではありません。看護は観察に始まり観察に終わります。そして、看護の質は看護師の質ともいわれます。いつも真ん中に患者を置いて行う看護は、必ず適切な看護になります。どんな条件・状況でも必ず適切な看護になります。

最後になりましたが、みなさまどうぞお身体をご自愛なさってください。

そして、弘前病院のますますのご発展を祈念致しております。ありがとうございました。

看護部長 高橋 範子

暖かな光に照らされて—第34回弘前城雪燈籠まつり・弘前雪明かり—

今年は、例年より少し遅く、2月11日（木・祝）から14日（日）の4日間開催されたみちのく五大雪まつりのひとつ「弘前城雪燈籠まつり」。そして、その会期にあわせたイベント「弘前雪明かりも市内各所で開かれました。

「雪燈籠まつり」の目玉である今年の大雪像の題材は、「青森銀行記念館」でした。「青森銀行記念館」は、明治37年11月、名匠の誉れ高い大工棟梁「堀江佐吉」の手により、「旧五十九銀行本店本館」として建てられました。構造は、「木造2階建て越屋根付き寄棟屋根棧瓦葺き、装飾塔（展望室）付き」です。昭和18年から青森銀行弘前支店として使用され、昭和40年に現在の位置に90度回転して移設、昭和47年5月には、その洋風建築の水準の高さから国の重要文化財に指定されました。ライトアップされた雪像は、威風堂々たるその姿



を見事に再現していました。

もうひとつのイベント「弘前雪明かり」では、吉野町緑地公園の「AtoZ Memorial Dog」をはじめ、公園内のあちこちに作られた雪の犬が、暖かなキャンドルの光等でライトアップされました。

メインの「AtoZ Memorial Dog」は、平成4年に同地で開催された「YOSHITOMO NARA+graf AtoZ」展（現代美術作家「奈良美智」展覧会）の収益金によって設置された真っ白な犬です。春はタンポポの花の黄色の絨毯の中、初夏にはラベンダーの花に囲まれて佇んでいます。今年、冬は、明るく暖かなライトの中、たくさんのお客さんのカメラに収まっています。

更に楽しみ方が広がった弘前の冬。寒さに負けず出掛けてみませんか？



入院係 工藤 真淑

市民講座 ◇医師と患者のコミュニケーション◇

ー セカンド・オピニオンをとおしてー

今回の市民講座は当院でセカンド・オピニオンを担当している今充先生のお話でした。

今先生は長年、弘前大学医学部で活躍され（第二外科教授、附属病院長）、退職後は患者さんの「助っ人」として精力的に活動されています。今回の先生のお話の骨子は「医療の主役は患者さん」で、この理念に基づいた医療が展開されるためには医療者、特に医師と患者さんとのコミュニ



ケーションが大切であることを先生は強調され、良好なコミュニケーションを構築するために患者さん一人ひとりが心掛けなければならないこと、医療者がやるべきことについて説明されました。良い医療には、患者さんと医療者との信頼関係、分かりやすい説明、それに患者さんに求められる積極性などが不可欠とのこと。そして最後に先生から患者さんへ「どうぞ悩まないで、納得するまで相談してください。あなたの主治医はあなたです」とのエールが送られました。

臨床研究部長 泉井 亮

【緩和ケア研修会に参加して】

緩和ケア研修会の目的は「基本的な緩和ケア」の習得で、講義とグループワーク、ロールプレイ（患者役、医者役にわかれて演技する）という構成でした。私が研修で学んだことは、ロールプレイの中で患者さん役となった時、不安や動揺が入り混じり何かを考えるとすることが出来ない状態になり、その時そばに寄り添い、自分のことを理解してくれる存在の大切さや、がんの治療と同時にからだの痛みやつらさに対応していくことの重要性を強く感じました。



私たちは日頃より患者さんを真ん中に置き、回復過程を支援する視点で看護を実践しています。

当院では、すでに緩和ケア研修会に12名の看護師が参加者しております。院内伝達講習などで学びを深めていき、いつでも、どこでも、切れ目ない質の高い緩和ケアを目指し、安心して治療ができる療養環境を提供できるよう努力していきたいと思います。

東3病棟 副看護師長 小林 貴子

☆BFHだより☆「良い母乳育児は良いお産から」 ～ 当院での参加型母親学級～2～

母親学級第3課では風船をおっぱいにみたて、実際に風船をくわえることで赤ちゃんの口の開きをイメージしてもらったり、小児科の先生から母乳や赤ちゃんの事についてのお話があります。

妊婦さんからは、「自分のお産がどのように進むか興味がわいてきた」「折り



出産されたお母様へのお祝い膳

紙ゲームでお産のイメージが具体的に出来て楽しかった」「具体的なおっぱいのあげかたや、母乳の必要性がわかりぜひ母乳で育ててみたい」との反応があり、実際、産後にミルクを足したいというお母さんが減りました。お産も母乳育児もお母さんが主役です。

産む力・育てる力を引き出させるように私たち助産師は妊婦さんやご家族に寄り添っていきたくと思っています。

母子医療センター 助産師 長尾 愛佳
助産師 高木 美穂

おゆうぎ会 風の子保育園

1月24日（日）院内風の子保育園のおゆうぎ会を行いました。

園児22名による、年の始めの「十二支のうた」昔から伝わる津軽伝承手あそびで、プログラムを始めると、会場からもう一緒にうたう声、手拍子とたくさんの応援をもらいました。

とんがり帽子のソフトクリーム妖精になって「いないいないばあー」のポーズ、ニコニコ笑顔で踊った初舞台の0歳児の赤ちゃん組。アフラックのコマーシャルでおなじみの曲「あひるがまねきねこに〜♪」と、少しはずかしがりながらも、かわいく招き猫ポーズをきめた2歳児。

「8時だよ！全員集合」の半纏を着て「エンヤーコラヤー」元気よく踊って、会場からのアンコールの声にこたえて2回も踊ってくれた「北海盆唄」。昔話劇「ももたろう」に挑戦し、一生懸命セリフを覚えて、オニ



退治をした姿に「ももたろうさん、ももたろうさん」と声援もとび、頑張りを見せた3～4歳児。

年中・年長児のしっかりしたピアノ力奏・劇・マイケルジャクソンの「BAD」での、格好いいステップ、ムーンウォーク。フリフリのドレスを着て憧れのフレッシュプリキュアになりきり、キュートな踊りに大歓声。

最後に小学校に入学する4名が「二本松少年隊」を「エイ」「ヤーと、かけ声をかけ勇ましく踊っておゆうぎ会を盛り上げてくれました。

管理課長から「今日も頑張って踊ってくれました」と、プレゼントをもらい、満足顔の園児でした。

今年も元気な園児と皆様の温かいご協力のおかげで楽しく終える事ができました。

風の子保育園長 諏訪 栄子



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表（2010年3月1日現在）

診 療 科	区分	月	火	水	木	金
循 環 器 内 科		人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康
呼 吸 器 科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
		下 山 亜矢子	下 山 亜矢子	下 山 亜矢子	下 山 亜矢子	下 山 亜矢子
消 化 器 ・ 血 液 内 科		山 口 公 平	週毎に交替で担当 ①吉谷 / 松木 ②松木 / 山口 ③山口 / 吉谷	山 口 公 平	山 口 公 平	—
		吉 谷 元		松 木 明 彦	吉 谷 元	松 木 明 彦
		佐 藤 年 信		—	佐 藤 年 信	—
小 児 科		野 村 由美子	野 村 由美子	杉 本 和 彦	野 村 由美子	野 村 由美子
		杉 本 和 彦	佐 藤 工	八 木 弘 子	佐 藤 工	杉 本 和 彦
外 科		田 澤 俊 幸	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹	横 山 昌 樹	三 上 勝 也
		三 上 勝 也	三 上 勝 也	田 澤 俊 幸	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹
整 形 外 科	午前	柿 崎 寛	柿 崎 寛	秋 元 博 之	又は 秋 元 博 之 大 鹿 周 佐	柿 崎 寛
		大 鹿 周 佐	能 見 修 也	大 鹿 周 佐		木 村 由 佳
		浅 利 享				
	午後	—	—	—	—	柿 崎 寛
脳 神 経 外 科		—	—	木 村 正 英	—	—
皮 膚 科	午前	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行
		佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲
	午後	● 予 約	● 手 術	● 予 約	● 手 術	● 予 約
泌 尿 器 科		大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆
産 婦 人 科		真 鍋 麻 美	片 桐 清 一	真 鍋 麻 美	● 妊婦検診 (一般外来休診)	片 桐 清 一
		柞木田 礼 子	小笠原 智 香	小笠原 智 香		柞木田 礼 子
眼 科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳 鼻 咽 喉 科		黒 田 令 子	黒 田 令 子	● 手 術 (一般外来休診)	黒 田 令 子	黒 田 令 子
		二 井 一 則	二 井 一 則		二 井 一 則	二 井 一 則
放 射 線 科	診 断	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	治 療	—	—	川 口 英 夫 (午 後)	—	—
麻 酔 科		● 手 術	● 手 術	● 手 術	工 藤 明	● 手 術
女性専用外科		杉 本 菜穂子 (※予約制／第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今 充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のABC 病理検査(3)

病理検査の中には、手術進行中に組織検査あるいは細胞検査の結果を報告する術中迅速診断があります。通常の病理検査と違い採取した組織検体は固定液に入れることなく検査室に届けられます。検査室では組織を急速凍結させて凍ったまま薄く切れる専用の装置で凍結標本を作製します。

腫瘍そのものの性状が良性か悪性かを判断するのみならず、切り残しがないことの確認や所属リンパ節に転移が有るか無いかの診断を短い時間で行います。

また腹腔や胸腔を生理食塩水で洗い回収した液の中に腫瘍細胞が有るか無いかのみならず、切り残しがないことの確認や所属リンパ節に転移が有るか無いかの診断を短い時間で行います。また腹腔や胸腔を生理



食塩水で洗い回収した液の中に腫瘍細胞が有るか無いかの診断を行います。これらの病理検査の結果によっては術式の変更もあり得ますので、非常に緊張する検査です。

凍結標本はホルマリンにて再固定し永久標本を作製し診断の確認を行い、後日、摘出組織全体の検索も行います。

副臨床検査技師長 濱中 貴久子

最後に、この回で臨床検査のABCシリーズ（検体検査）を終わらせていただきます。少しお休みして機会がありましたら次回は生体（生理）検査についてお話ししたいと思います。長い間有難う御座いました。

臨床検査技師長 高橋 俊英

☆ 栄養管理室から「イベント食」について ☆

栄養管理室では毎月、季節に合わせたイベント食を行っています。

1月は、松茸ごはんや茶碗蒸し、そして、今年に入って初めての鯛やマグロ、甘エビの刺身がのった海鮮丼、冬の定番になった味噌ラーメンなどを提供させていただきました。

2月は、節分の日には落花生を、また、1月と同じく海鮮丼や味噌ラーメン、焼きそばなどを提供させていただきました。

患者様からは「美味しい」という言葉だけではなく、「病院で刺身などの生ものが食べられるなんてビックリした」、「味噌ラーメンの麺がのびていなく

てビックリした」など驚きの言葉もいただきました。私たち、食事を提供する者にとって患者様から「美味しい」と言ってもらえることが、とても励みになります。

そして、3月もひな祭りということで“ちらし寿司”を、また“山菜そば”や“はらこ飯”などのイベント食を行い、患者さまに喜んでいただきたいと思います。

栄養士 四釜 諒子



【ふるさと紹介】◇八戸市◇

私のふるさと「八戸市」について紹介します。人口は約24万人で、太平洋に面しており、豊富な海の幸と引き換えに、凍えそうな「やませ」の吹き荒れる土地で、6月でも時々暖房が必要です。降雪量は少ないですが一日の寒暖差が激しく、ちらつく雪が日中には溶け、夜には凍り、見事なアイスバーンが出来上がります。そのため八戸は「氷都」と実は呼ばれ、冬の国体は幾度も開催されており、スケートは小学1年から授業で行います。

また八戸市の中心街には「表通り」「裏通り」と



呼ばれる平行する2本の通りがあり、通りに沿った地名には昔の市日の名称がそのまま残っています。表通りは廿三日町・十三日町・三日町・八日町・十八日町・廿八日町と並び、その裏には廿六日町・十六日町・六日町・朔日街・十一日町・廿一日町と並んでおり、向かい合う地名は下一桁を足すと9になるように配列されています。

観光としてはうみねこの飛び交う蕪島や海岸線の美しい種差海岸が有名で、夏には豪華絢爛な八戸三社大祭、冬には豊作を願うえんぶりが催されます。JRなら「つがる」、高速バスなら「南軽号」に乗れば弘前から一本で行けますので、一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

産婦人科医師 柾木田 礼子

【今月の川柳】

★【川柳募集】あなたの川柳をお待ちしています。

川柳が 載った「まほろば」 宝物

(T. K)

掲載した川柳は、広報誌編集委員会で選出したものです。

風の子保育園 作品展

外来処置室前に院内保育園児の作品を掲示しています。



お知らせ

※第4水曜日に地域医療研修センターにおいて、当院職員による市民講座を開催しております。参加は自由ですので、ご是非ご参加下さい。

3月は都合によりお休みさせていただきます。

◆ 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW（メディカルソーシャルワーカー）が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>